

医師の視点で、コロナ対策

加藤けんいちろう プロフィール

昭和24年9月27日生まれ 東京都出身

学歴

筑波大附属駒場高 卒業(昭和43年)
東京工業大学理学部 卒業(昭和49年)
浜松医科大学医学部 卒業(昭和55年)
エール大学大学院公衆衛生学修士課程
修了(昭和61年)

職歴

日赤医療センター 内科
慈恵医大第3病院 リハビリ科
自治医大病院 精神科
などで勤務医として働く
現在、松戸市の老健施設で非常勤医師
として勤務

著書

「断想I, II 私のアフォリズム」
(幻冬舎、アマゾン・キンドル)

趣味

読書、カラオケ、社交ダンス

現在の夢

千葉県知事になって小池百合子と結婚すること







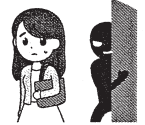
座右の銘

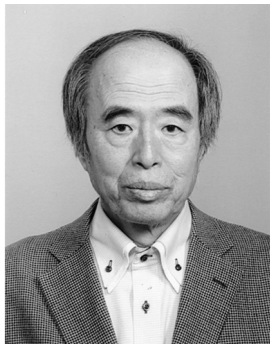
「なさはけはひとのためならず」
「自分がして欲しくないことは他人にするな」
「どんな人にもいい所が必ずある」
「タダほど高いものはない」
「勇気を失えば全てを失う」
「ミソダルとクソダルの敷居をとると全部クソダルになる」
「人体をまねて国土をつくる」

尊敬する人

フォン・ノイマン(数学者)
伊能忠敬(江戸時代の地図学者)

●●● 政策提言 ●●●

- ① 「千葉のバイデン」をめざす。今は危機の時代だから対立よりも結束。2人の若い有力候補には、まだ未熟なので副知事になってもらい、4年間のうち2年間は海外留学や海外視察をしてきてもらう。
- ② 今は乱世なので、知事直属の危機管理センターをつくる。調査チームを現地に派遣する。
- ③ 少子化対策として、20歳になったら希望者全員の精子と卵子を冷凍保存する体制をつくる。
- ④ 高齢化対策として、県内のゴルフ場に老人介護施設と職業訓練大学校併設。そこで若者に働きながら資格を同時に取得してもらう。
- ⑤ 発達障害の人や、精神障害の人のための農業公社を外房につくる。
- ⑥ 若者を大切に。千葉県独自に「若者の日」をつくる。
- ⑦ 集団ストーカーの禁止条例をつくる。カルト教団や労働組合の千葉県支配を許さない。



加藤けんいちろう